

令和2年度

大泉地区河川水質調査結果

株式会社 山梨県環境科学検査センター

結果

大泉地区河川水質調査（05-01～06）

測定項目	測定地点	令和2年度の結果
pH	全地点	河川環境基準のAA類型を満たす良好な値を示した。
電気伝導率	全地点	5.66～15.7mS/mの範囲だった。
BOD	全地点	「05-03」において8月に河川環境基準のC類型相当、12月にD類型相当の高い値を示した。その他の地点はAA類型相当の値を示した。
COD	全地点	12月に「05-03」において湖沼環境基準のC類型相当の値を示した。その他の地点はA～B類型相当の値を示した。
SS	全地点	河川環境基準のAA類型を満たす良好な値を示した。
DO	全地点	河川環境基準のAA類型を満たす良好な値を示した。
大腸菌群数	全地点	8月は「05-04」において河川環境基準のB類型相当の値を示したが、その他の地点は類型外となる高い値を示した。12月は河川環境基準のAA～B類型相当の値を示した。
全窒素	全地点	0.05未満～1.79mg/Lの範囲だった。
全りん	全地点	「05-01（8月：0.189mg/L、12月：0.228mg/L）」、「05-03（8月：0.191mg/L、12月：0.488mg/L）」が他の地点よりも高い値を示した。その他の地点については、0.013～0.084mg/Lの範囲だった。
陰イオン界面活性剤	全地点	不検出あるいは微量検出された。

参考資料：表 大泉-1～3、グラフ 大泉